

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 ハチバン

コード番号 9950

URL <http://www.hachiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 酒井 守一

TEL 076-292-9950

四半期報告書提出予定日 平成26年10月27日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,567	4.2	3,282	4.5	236	△5.0	349	△1.8	198	△1.2
26年3月期第2四半期	3,422	0.9	3,142	0.3	248	28.9	355	41.8	200	53.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 324百万円 (56.1%) 26年3月期第2四半期 207百万円 (92.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	12.38	—
26年3月期第2四半期	13.85	—

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
27年3月期第2四半期	5,440		3,849		70.3		240.37	
26年3月期	5,131		3,565		69.5		222.58	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,825百万円 26年3月期 3,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,983	7.0	6,445	7.6	285	△14.2	368	△17.3	191	△9.7	11.92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	16,040,558 株	26年3月期	16,040,558 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	25,007 株	26年3月期	23,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	16,016,164 株	26年3月期2Q	14,493,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見直しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見直しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上期予想数字と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の推進により、企業業績や個人消費は回復基調をもって推移しておりますが、その一方で消費税増税の影響は、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向は依然として強く、また、円安などによる原材料価格やエネルギーコストの上昇ならびに人手不足を背景とした人件費関連コスト等の上昇、異業種との競争が続くなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、継続して「食の安心・安全」の維持向上に努め、お客さまの信頼を最優先に事業活動を展開しております。そして、より高品質・より健康志向の商品を開発して提供することと接客サービスの維持向上に注力しております。

当第2四半期連結累計期間中の店舗展開につきましては、直営店1店舗、加盟店4店舗（海外）を新規開店する一方、加盟店都合による3店舗（国内1店舗、海外2店舗）の閉店があり、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は260店舗（前期末比2店舗増、うち国内同数、海外2店舗）となっております。その内訳は、らーめん店舗134店舗、和食店舗12店舗、海外店舗114店舗であります。

なお、タイ王国における海外事業の重要性が増してきていることにより、第1四半期連結会計期間から、非連結子会社であった株式会社ハチバントレーディング（タイランド）を連結子会社へ、持分法非適用関連会社であったダブルフラワリングカメラ株式会社を持分法適用関連会社として、それぞれ連結の範囲に含めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、連結対象会社の増による海外事業のスープ・エキス売上の増加により32億82百万円（前年同期比4.5%増）、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、35億67百万円（前年同期比4.2%増）となりました。営業利益は、コストダウンに努めましたが、仕入原価のコストアップや人件費を始めとした諸費用の増を吸収しきれず2億36百万円（前年同期比5.0%減）、経常利益は3億49百万円（前年同期比1.8%減）、四半期純利益は1億98百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

#### ①外食事業

##### (らーめん部門)

日本国内における8番らーめんフランチャイズチェーンの展開を主とするらーめん部門においては、店舗の改装・移転による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

8番らーめんでは、主力商品である野菜らーめんの品質向上を最重要テーマとして取り組んでおります。4月に夏季商品「能登中島菜ざるらーめん」を新発売したほか、9月には、昨年開催した「じもとじまんフェア」で好評を博した「野菜トマトらーめん」を期間限定で販売いたしました。

これらの営業諸施策の結果、8番らーめんチェーン既存店売上高前年比は101.0%となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、JR金沢駅構内の商業施設「あん」と内に「8番らーめん金沢駅店」を直営店として新規出店いたしました。加盟店都合による閉店1店舗があり、134店舗（うち加盟店116店舗、直営店18店舗、前期末比同数）となっております。

##### (和食部門)

主として八兆屋、長八、野ふうど等の和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。

その結果、既存店売上高前年比は104.5%となりました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗（前期末比同数）であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は29億42百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益は仕入原価のコストアップや人件費を始めとした諸費用の増を吸収しきれず4億20百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

#### ②外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、より付加価値のある商品の開発と提案に努め、生麺ブランド「八番麵工房」、冷凍生餃子を、地元スーパーマーケット様を始めとして、国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に、販売の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億81百万円（前年同期比4.7%減）、経常利益は運賃、保管料等の販売費用が増加したことにより10百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

### ③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンエリアライセンス契約による海外店舗展開ならびに主としてラーメンスープ・エキスの食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での「8番らーめん」ブランドの確立、新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、中華人民共和国（大連市）での閉店2店舗はありましたが、タイ王国で3店舗、香港で1店舗の新規出店があり、114店舗（うちタイ王国108店舗、香港6店舗、前期末比2店舗増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ王国での店舗売上好調に加え、主に連結対象会社数の増によるスープ・エキス売上の増加により、2億43百万円（前年同期比136.0%増）、経常利益は88百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する説明

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加して54億40百万円（前連結会計年度比6.0%増）となりました。これは主に長期貸付金が61百万円減少したものの、売掛金が2億6百万円増加したことや、投資有価証券が1億17百万円増加したことによるものであります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加して15億91百万円（前連結会計年度比1.6%増）となりました。これは主に長期借入金が46百万円減少したものの、買掛金が64百万円増加したことによるものであります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加して38億49百万円（前連結会計年度比8.0%増）となりました。これは主に、利益剰余金が1億41百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億24百万円増加したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成26年4月30日に公表しました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社ハチパントレーディング（タイランド）は、重要性が増したため連結の範囲に、持分法非適用関連会社であったダブルフラワリングカメラ株式会社は、重要性が増したため持分法適用の範囲に含めております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	427,889	381,444
売掛金	321,180	528,078
商品及び製品	55,217	72,150
原材料及び貯蔵品	25,369	24,560
繰延税金資産	68,974	71,894
その他	138,675	166,757
流動資産合計	1,037,307	1,244,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	708,260	719,623
機械装置及び運搬具（純額）	233,721	312,042
工具、器具及び備品（純額）	156,869	155,218
土地	1,079,594	1,079,594
建設仮勘定	4,520	—
有形固定資産合計	2,182,965	2,266,478
無形固定資産	40,704	41,517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064,619	1,182,128
長期貸付金	131,380	69,770
関係会社出資金	72,292	72,292
差入保証金	312,220	327,325
保険積立金	227,813	221,680
繰延税金資産	59,347	8,304
その他	28,036	27,485
貸倒引当金	△24,788	△21,126
投資その他の資産合計	1,870,921	1,887,860
固定資産合計	4,094,591	4,195,856
資産合計	5,131,898	5,440,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,135	285,694
短期借入金	129,988	111,698
未払法人税等	82,942	129,656
賞与引当金	88,137	94,140
未払費用	260,657	275,917
その他	132,252	92,302
流動負債合計	915,112	989,408
固定負債		
長期借入金	259,045	212,341
長期末払金	213,751	213,751
長期預り保証金	178,831	175,551
固定負債合計	651,627	601,643
負債合計	1,566,740	1,591,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,411,848	1,411,848
利益剰余金	685,708	827,339
自己株式	△7,965	△8,505
株主資本合計	3,608,047	3,749,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,888	81,437
為替換算調整勘定	—	△5,390
その他の包括利益累計額合計	△42,888	76,047
少数株主持分	—	24,507
純資産合計	3,565,158	3,849,691
負債純資産合計	5,131,898	5,440,743

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	3,142,081	3,282,870
売上原価	1,546,544	1,678,472
売上総利益	1,595,537	1,604,397
営業収入	280,379	284,344
営業総利益	1,875,916	1,888,742
販売費及び一般管理費		
運賃	140,101	139,831
役員報酬	54,433	51,439
給料及び手当	600,474	618,206
賞与引当金繰入額	78,143	82,457
退職給付費用	9,387	9,093
地代家賃	125,208	120,284
水道光熱費	93,632	90,165
減価償却費	32,979	37,963
その他	492,688	502,778
販売費及び一般管理費合計	1,627,048	1,652,220
営業利益	248,867	236,522
営業外収益		
受取利息	4,804	4,533
受取配当金	93,331	87,981
受取地代家賃	28,764	25,696
受取保険料	3,830	3,664
受取手数料	4,485	4,580
設備賃貸料	3,124	219
その他	2,387	13,539
営業外収益合計	140,728	140,214
営業外費用		
支払利息	1,307	1,274
賃貸費用	27,554	24,671
為替差損	5,071	—
持分法による投資損失	—	747
その他	151	877
営業外費用合計	34,084	27,571
経常利益	355,512	349,165
特別損失		
固定資産除却損	534	121
特別損失合計	534	121
税金等調整前四半期純利益	354,977	349,044
法人税、住民税及び事業税	139,500	143,000
法人税等調整額	14,648	4,096
法人税等合計	154,148	147,096
少数株主損益調整前四半期純利益	200,828	201,947
少数株主利益	—	3,554
四半期純利益	200,828	198,392

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	200,828	201,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,722	124,326
為替換算調整勘定	—	△1,100
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1,147
その他の包括利益合計	6,722	122,078
四半期包括利益	207,551	324,025
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,551	321,032
少数株主に係る四半期包括利益	—	2,993

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	2,919,336	399,759	103,365	3,422,461	—	3,422,461
セグメント間の内部営業収益又は振替高	252,292	5,457	37,396	295,146	△295,146	—
計	3,171,629	405,216	140,761	3,717,607	△295,146	3,422,461
セグメント利益	459,385	14,634	74,375	548,395	△192,883	355,512

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△192,883千円には、各セグメント間取引消去965千円、各セグメントに配分していない全社費用△193,848千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	2,942,176	381,057	243,981	3,567,214	—	3,567,214
セグメント間の内部営業収益又は振替高	232,821	5,383	31,310	269,515	△269,515	—
計	3,174,997	386,440	275,291	3,836,729	△269,515	3,567,214
セグメント利益	420,357	10,983	88,780	520,120	△170,954	349,165

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△170,954千円には、各セグメント間取引消去905千円、各セグメントに配分していない全社費用△171,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。